

翔通信 6月号

2020年6月1日発行
泉第2チェリーこども園

不安、疑念、焦燥、怒りに心が支配されてしまいそうになりながら今年度のかげがえのない4、5月が過ぎてしまいました。本来であればこの間に新たな園生活や新しい環境に慣れ、親しみ、6月からは初夏の陽気の中、新緑の緑が濃く色づき枝葉を伸ばすように、子ども達もますます遊びや生活、人とのつながりが豊かに変化していく時期でした。失われた時間は決して小さなものではありません。しかし、取り返しのつかないものではありません。この間家庭で培われたもの、こんな時だからこそ感じられるもの、今から積み重ねていくものによって、きっとしなやかで、たくましく、やさしく、育っていくと信じています。

一方で、今般の新型コロナウイルス感染症をめぐっては人の本質がよく感じられる期間であったなと思います。アルコールを個人でご寄付してくださったり、マスクを直接郵送してくださる事業者がいらっしやったりと、物品の恩恵以上に私たちの心が救われました。何よりも在園の保護者の皆さまのご協力には感謝の言葉ありません。おかげさまで、一時は非常に逼迫した危機的な状態の中であってもリスクを最小限にすることができました。中には励ましのメッセージや、先生たちのありがたさを身に染みている、がんばってください、などの心温まるメッセージやお言葉を頂戴し、何度励まされたかわかりません。本当にありがとうございました。

今後も当該ウィルスの脅威がなくなったわけではありません。世界に視野を広げればまだまだ終息とは程遠く、日本でも第2波などの否定はできませんし、ワクチン、特効薬なども明確にはなっておりません。しかし教育、保育、お仕事などもいつまでも立ち止まっていられません。これらを共存させ、リスクをできる限り少なくしていきながら新たな日常を作っていかなければなりません。時々刻々と状況は一変し、都度考え、対応していく日々がまだまだ続くかと思いますが、枠組みの垣根を越えて互いに手を取り合い、支えあっていければと切に願います。

保護者の皆さまには今後も何かとご不便をおかけすることが多くなりますが、何卒ご理解いただき、この時代を生き抜く同志としてお力添えをいただければ幸いです。

園長 工藤 俊平

お知らせ

- 翔通信5月号は休刊とさせていただきます。
- 5月号より掲載予定だったクラスだよりについては7月号より掲載とさせていただきます。
- 年間予定の行事については、5月18日配布の半年分の予定表をご確認ください。
- 育児休暇中の鈴木ちひろ先生が5月25日(月)より復帰しました。よろしくお祈りします！
- 育児休暇中の佐藤史織先生が6月1日(月)より復帰します。よろしくお祈りします！

おすすめ絵本 紹介コーナー

律子先生
お勧めの絵本教えて！



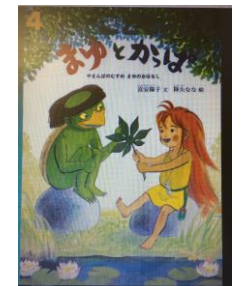
私のおすすめの本は・・・
「ラチとライオン」 絵・作 マレーク・ベロニカ
出版社 福音館書店 です。

この絵本は、私が小さい時に2つ上の兄が大好きで良く読んでくれました。感動して泣いたことを覚えています。

ラチは世界で一番弱虫です。犬を見ると逃げ出したり、暗い部屋に入ることができません。そんなラチが小さいライオンと出会い、だんだん強くなっていくストーリーです。

“怖い”という気持ちは誰もが持っているもの。そんな感情にうちかって強い心が育っていく勇気を与える勇気を与える本です。ライオンと出会う前のラチは友だちにも反論できない子でした。それがいじめっこに立ち向かおうとした時、周りの子たちから無理だと言われたとき、「ぼくはよわむじじゃないよ」と言うのです。人は変わることができる、そして強さと優しさを教えてくれる本です。是非手にとって見てください。

ゆうこ先生
お勧めの絵本教えて！



私のおすすめの本は・・・
「まゆとカッパ」 絵 降矢 なな ・文 富安 陽子
出版社 福音館書店 です。

いつも元気で力持ちのまゆが活躍するシリーズの中の一冊です。このお話では、まゆがかっぱとすもうの勝負をします。ある日、沼のほとりでこがっぱのミドリマルと出会ったまゆ。二人ですもうの練習を始めますが、「うんとこどっこいどっこいしょー！」と、岩をも軽々と投げ飛ばすまゆにミドリマルはびっくり仰天！他のカッパたちも「なんだ？」「なんだ？」と次々に集まってきます。そして最後に現れた大がっぱのデッカマルとまゆはすもうをとることに。巨大な岩のようなデッカマルを相手に、まゆに勝ち目はあるのでしょうか！？

まゆの予想を上回る怪力振りに子どもたちもビックリ！そして読み聞かせの度に大笑い。リズムカルな文章は、子ども達をどんどん楽しい絵本の世界に連れて行ってくれます。遊び心のある絵も見どころです。はと組の後半からおすすめの絵本です。